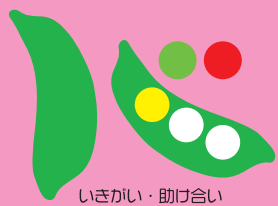


住民主体の地域共生社会の実現に向けてジャンプしよう!



いきがい・助け合い サミット in 東京

お申し込み受付開始は
2022年5月16日

開催: 2022年9月1日(木)~2日(金)

会場: グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール



会場参加



オンラインによるライブ配信

生活支援コーディネーター、協議体構成員、行政、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの地域づくり関係者はじめ、広く共生社会づくりに関わる全員で住民主体の地域共生社会へ向けて「ジャンプ」しましょう!

主な
内容
(予定)

- 全体シンポジウム
- 分科会 第1部から第3部まで37分科会を予定(全テーマは裏面に記載)
- ポスターセッション 全国からのポスターを展示します
- 全体発表会 ● 大交流会 など

全体シンポジウム
テーマ

「地域共生社会への進展 ~住民主体で大ジャンプ~」

登壇者



中央大学
教授
宮本 太郎氏



京都大学
教授
広井 良典氏



社会福祉法人
豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長
勝部 麗子氏



特定非営利活動法人
きらりよしまネットワーク 事務局長
高橋 由和氏



公益財団法人
さわやか福祉財団 会長
堀田 力

進行役

伴走支援が大事。
住民ファーストの
重要性にあらためて
気付かされました。

オンライン参加
でしたが、普段
聞けないジャンルの方の
お話が聞けて、視野が
広がりました。

サミット in 神奈川
参加者の声

学ぶことや再認識することが
いっぱいありました。

内容盛り
だくさんで、

事前に資料に目を通して参加することができ
非常に助かりました。我が地域に置き換えながら
参加させて頂くことができました。

ポスター展示によせられた
皆さまの声

さまざまな地区の
取り組みを勉強できて、
とても勉強になりました。
明日からの活動に生かしていきたい
と思います。

多様性とは、寛容性とは、地域とは、生きるとは…。誰かが誰かの
支えになれる社会、助けてと言える社会を考えていきたい。



大阪、神奈川での提言を受ける締めサミットです! 是非ご予約ください。



各分科会では、大阪サミット(ホップ)、神奈川サミット(ステップ)で議論を進めた「いそがしい・助け合い実現に向けた基本的課題、各論的課題」に加えて、新たに「地域共生社会実現に向けた諸課題」について議論します。各分野の有力者や地域で活躍する実践者が多数ご登壇くださいます。地域共生社会に向けた様々な取り組みを学び、これからについて共に考える貴重な機会です。テーマは、以下の予定です。

第1部パネル

- 先進自治体の取り組む地域共生社会～自発的自律的な連携の動き～【新規】
- 生活支援を助け合い活動で行うには、どうすればよいか
- 住民のやらされ感を払しょくし、信頼される体制をどうつくるか
- 目指す地域像の策定及び実現のための工程表
- 2層協議体の構成と役割
- ニーズの掘り起こしと担い手の発掘
- 地縁の助け合い活動を活性化するには？
- 共生型常設型居場所をどう広げるか
- 有償(謝礼付き)ボランティア活動をどう広げるか
- 自動車による移動支援をどう広げるか
- 助け合い活動に対する行政の後方支援のあり方
- 都道府県は助け合いによる生活支援活動を広めるために何をすべきか
- 医療・介護サービスと生活支援の助け合い活動とのネットワークをどうつくるか

第2部パネル

- これからの20年、日本は様々な冷たさを克服して、あたたかい人間開花社会をつくることできるか【新規】
- ご近所の助け合いが自然に行われる地域をどうつくるか
- 認知症の人が地域の人々とともに生きる地域をどうつくるか
- 市民後見人による後見活動と生活支援活動はどう連携するのが望ましいか
- 企業OBに助け合いによる生活支援活動への参加をうながすにはどうすればよいか
- 防災活動をどう助け合い活動に結び付けるか
- 在宅での人生の最終章の過ごし方及び看取りのあり方
- ケアプランに生活支援の助け合い活動及び本人のいきがい活動をどう取り入れるか
- 社会福祉法人の地域共生への貢献と認定介護福祉士の役割
- 大都市部における企業とも連携した新地域支援事業の進め方
- 人口が少ない自治体における助け合いによる生活支援に関する課題と対応策は何か
- 海外では地域の助け合い活動でどれだけ高齢者の生活を支えているか

第3部パネル

- 住民活動の推進拠点をつくる地方自治体【新規】
- 企業のSDGs～地域共生社会への貢献～【新規】
- 労組・非営利団体のSDGs～地域共生社会への貢献～【新規】
- 学生・生徒がボランティア活動を進展させる方策【新規】
- 勤労者の助け合い活動参加をどううながすか
- 心身機能が低下しても持てる能力を生かして社会参加する方法とは
- 子どもと高齢者の交流や助け合いをどう広げるか
- 乳幼児期に子どもの共感力を育てるともあそび【新規】
- 地域は、地域で孤立しがちな人とどうつながるか
- 外国人との共生【新規】
- 個人の住宅を地域に開くには、どうすればよいか
- 日本における寄付文化を進展させる方策

開催概要

コロナ禍が収束していても、会場参加とオンラインによるライブ配信を併用して開催いたします。

開催日 2022年9月1日(木)～2日(金)

会場 グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール

(住所) 東京都港区高輪3-13-1
(最寄駅) JR線・京急線 品川駅(高輪口)

定員 会場参加: 1,500名 オンライン視聴: 3,000名

申込方法 申込パンフレットやホームページでご案内します

主な対象 生活支援コーディネーター、協議体構成員、地方自治体、社会福祉協議会、地域包括支援センターなどの地域づくり関係者、国・関係機関・NPO・民間団体・企業・労働組合の関係者など広く地域共生社会づくりに関係する方

参加費 資料代として2,000円(税込、会場参加、オンライン視聴共に変わりはありません)
大交流会は、別途参加費として3,000円(税込)

後援(2021年の実績) 厚生労働省、全国社会福祉協議会、日本生活協同組合連合会、全国老人クラブ連合会、Jリーグ 等

主催 公益財団法人さわやか福祉財団 〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館7F

お問い合わせ 事務局 内田、徳間 電話: 03-5470-7751